



会員各位

LS 研 2015/0039 号
2015 年 5 月吉日
FUJITSU ファミリー会 LS 研究委員会
幹事長 石毛 幾雄

LS 研 2015 年度 第 1 回 マネジメントフォーラムのご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また日頃 LS 研運営にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

LS 研会員の皆様におかれましては、企業内における ICT 部門への期待が高まる中で現状とのギャップから日々多くの課題を抱えておられることと思います。

そこで LS 研会員のリーダー層、マネージャー層の方々を対象とした第 1 回マネジメントフォーラムを以下の要領で開催致します。本フォーラムでは、参加者同士忌憚のない意見交換を行うと同時に、担当する 2 名の幹事からアドバイスを受けながら討議にご参加頂きます。

つきましては、ぜひ本フォーラムへのご参加を賜りたくご案内申し上げます。

敬具

記

1. 開催日程 : 2015 年 6 月 25 日 (木) ~ 26 日 (金)
2. 開催場所 : 湘南国際村センター (神奈川県 三浦郡 葉山町)
3. テーマ : 「**ビジネスに貢献する ICT 部門を目指して**」

～最前線のリーダーが、今、何に取り組むべきか～

企業の ICT 部門は、ICT の企画・構築・維持運用を担うと同時に、企業経営を支える部門としての重要な役割が期待されています。しかしながら、経営陣・ビジネス部門と ICT 部門との間に距離があったり、日々の業務に追われてビジネスに踏み込んだ提案ができない等、打開策に頭を抱えるリーダーが数多くいます。本フォーラムでは、リーダー同士が業種の枠を超えて課題を共有し合い、腹を割って論議することで、ビジョンや目指すべき方向を明らかにし、具体的な施策への落とし込みを目指します。他社・他業種との情報・意見交流を踏まえ、自社の強み・弱みを再確認するとともに、これまでにない気づきや明日へのヒントを得られる場となるでしょう。

4. アドバイザー : 株式会社日本アクセス 常務執行役員 占部 真純 様
パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社 代表取締役副社長 岡島 万樹 様

5. 募集対象 : ICT 企画部門、ICT 部門の リーダー層、マネージャー層 16 名

6. 参加費用 : 23,000 円 / 名 (消費税・食事・宿泊代を含む)

※JR 新横浜駅までの交通費往復は、各自個別にご負担下さい。

7. 申込方法 : LS 研 Web サイトよりお申し込みください。

<http://jp.fujitsu.com/family/lksen/activity/m-work-group/15/entry/01.html>

8. 申込期限 : 2015 年 6 月 11 日 (木)

9. スケジュール（予定）：

<6月25日（木）> ※プログラム内容は一部変更する場合がございますのでご了承下さい

時間	内容
10:00	JR 新横浜駅前バスターミナル集合、バスで移動
11:30	■オリエンテーション（研修の狙い、進め方など）
12:30	昼食
13:30～18:30	情報提供：株式会社日本アクセス 常務執行役員 占部 真純 様 <Step1> 自己紹介、現状認識の共有 <Step2> 現状確認と課題抽出、整理 <グループ討議、全体発表>

<6月26日（金）>

時間	内容
8:30～12:00	■前日の振り返り <Step3> あるべき姿の検討、整理 <グループ討議>
12:00～13:00	昼食
13:00～16:30	<Step4> 解決策、実現手段の検討 <グループ討議、全体発表、意見交換> ■研修のまとめ <Step5> 各自の決意<実行プランの記入・発表>
16:30～17:40	バスで新横浜駅に移動後、解散

10. ご集合場所： JR 新横浜駅前バスターミナルに 10 時 00 分にご集合をお願いします。

※ バスは 10:05 には会場に向けて出発しますので、ご注意ください。

この周辺より、バスにご乗車頂きます。
 バス団体名「LS 研マネジメントフォーラム」を
 ご確認の上、ご乗車下さい。



11. お問い合わせ先：LS 研事務局 担当：黒岩・沖野

（富士通(株) カスタマーリレーション部内）

Tel: 03-6252-2581 E-mail: contact-lsken@cs.jp.fujitsu.com

<ご参考>

* 参加者のご意見・ご感想

- ・「IT部門の抱えている課題について異業種の方々との共有ができ、非常に有意義だった。」
- ・「同業他社の方の抱える問題を知るとともに、自らの気づきにつながった。」
- ・「アドバイザーの的確な意見が大変参考になった。」
- ・「バラエティーに富んだメンバーとみっちり2日間話せたことは財産になった。」
- ・「メンバーから進行役、発表者を出すスタイルは受身のセミナーと違い、参加者のスキルアップに繋がる方法で大変よかった。」

以上